



見直しましょう、 受診のしかた

からだにもサイフにもよくない、
重複受診・頻回受診

重複受診とは、同じ病気で何軒もの病院や診療所にかかる、いわゆる「ハシゴ受診」のこと。検査や薬の重複などにより、体に悪影響を与える可能性も否定できません。また、医師の指示もないのに何度も受診を重ねるなどの頻回受診は、医師や他の患者の迷惑ともなります。

このような受診のしかたをすると、いずれも通常より医療費がかさむことになりま。そしてその医療費は、私たちの大切な保険料から支払われているのです。

複数の医療機関にかかると、初・再診料だけで2倍にも（3軒にかかった場合の例）

※初診料と再診料の合計額（患者負担は上記の原則3割）。検査料等を加えると、その差はさらに大きくなります。

受けている治療に不安があるときには、まずはそのことを医師に伝えて話し合ってみましょう。また、主治医以外の医師の意見を聞きたいときは「セカンドオピニオン」という方法もありますので、申し出てみましょう。

	同じ病院に通う場合	重複受診の場合
1 回目	初診料 2,700 円 (+検査料等)	初診料 2,700 円 (+検査料等)
2 回目	再診料 690 円	初診料 2,700 円 (+検査料等)
3 回目	再診料 690 円	初診料 2,700 円 (+検査料等)
合計	4,080 円	8,100 円

IBM健保組合では、重複受診と思われる方にアプローチを行っています

IBM 健保組合では、被保険者を対象として、主に重複受診（頻回受診を含む）と思われるケースをレセプト（診療報酬明細書）から抽出しました。具体的には右の表のような調査を行い、その結果に基づいて対象となった方々にアプローチを行いました。

●加入者の受療動向に関する調査

調査内容	「重複・頻回」受診者実態調査
調査対象者	被保険者
調査データ	レセプトデータ (2014年1月～12月)
該当条件	同じ月の中で、複数の医療機関を3ヵ月連続で受診する等のケース（類似ケースを含む）
調査結果を踏まえたアプローチ	受診状況に応じて書簡の送付やアンケート等を行い、適正受診を促します。

病気やけがの際に頼りになるのが医療機関ですが、受診のしかたを間違えると、大切な保険料から支払われている医療費が無駄に使われるだけでなく、逆に体に負担を与える場合もあります。また、緊急に医療を必要とする重症患者の治療にも支障を与えかねません。特に最近では、「重複受診」や「頻回受診」などが目立つようになり、問題視されています。

ほかにも、こんな受診のしかた、していませんか？

緊急ではない診療時間外の受診

平日の日中は時間がないからなどの自分の都合で、夜間や休日に医療機関を受診するのはやめましょう。診療時間外や深夜、休日に病院や診療所に受診すると、初診料、再診料にそれぞれ加算されるため、医療費がかさみます。薬局の場合も同様で、時間外や日曜・祝日等、深夜だと調剤技術料が2～3倍になります。

初診から「大病院」

大学病院などのいわゆる大病院は、専門的な検査や高度な医療を行うための医療機関です。紹介状なしに受診すれば、ほとんどの場合、通常の医療費とは別に全額自己負担の特別料金を請求されます。近所の医院・診療所などに「かかりつけ医」（主治医）を持ち、まずはその医師に相談するようにしましょう。